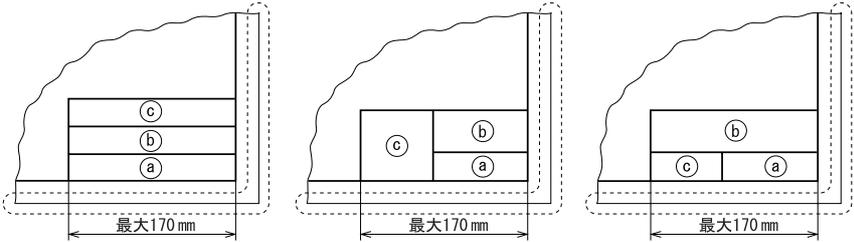
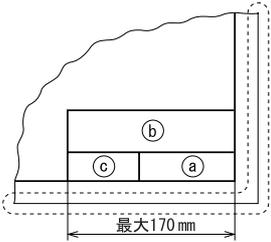
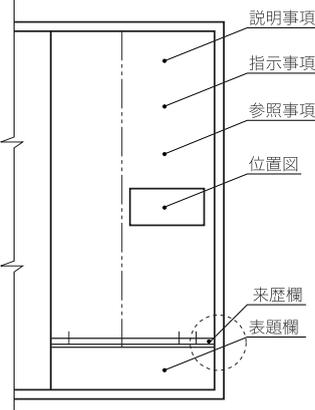
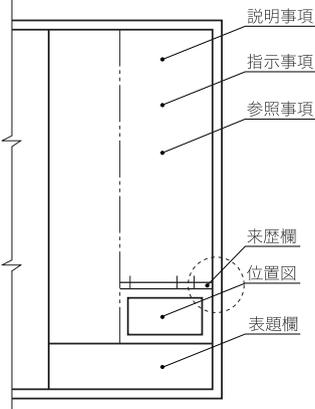
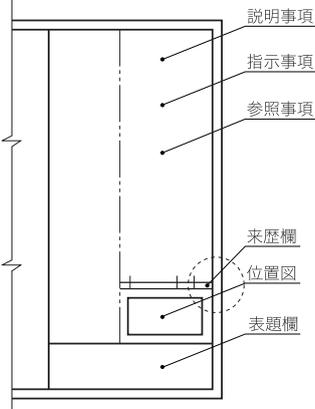
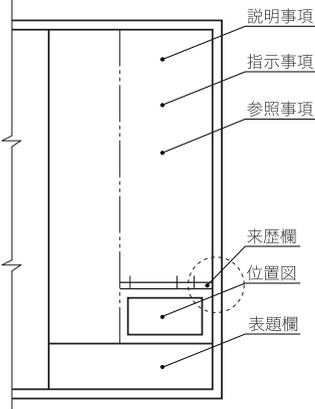
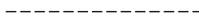
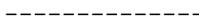
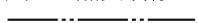
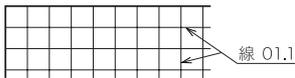
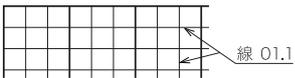
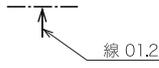
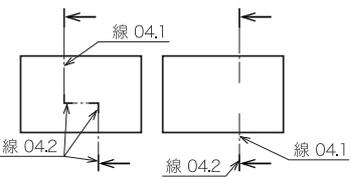
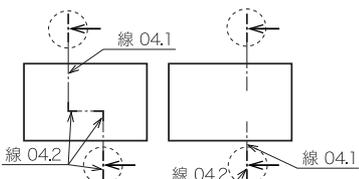
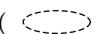


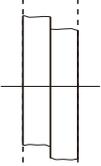
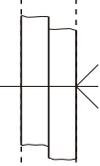
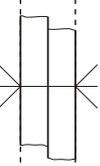
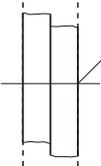
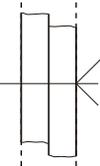
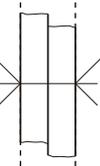
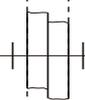
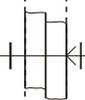
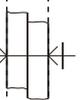
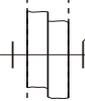
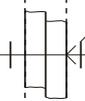
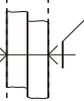
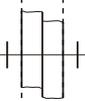
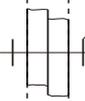
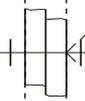
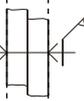
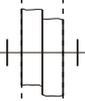
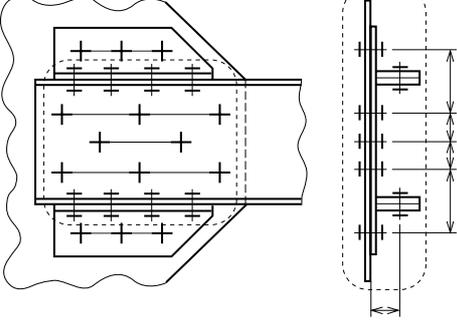
土木製図通則

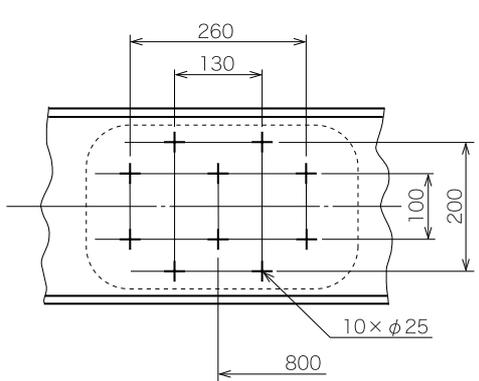
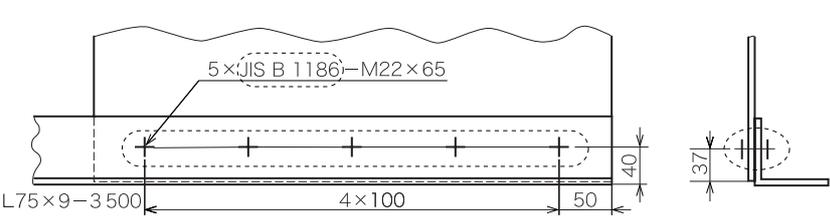
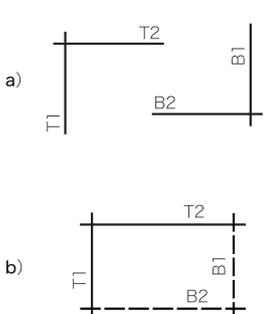
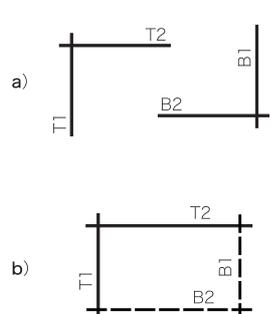
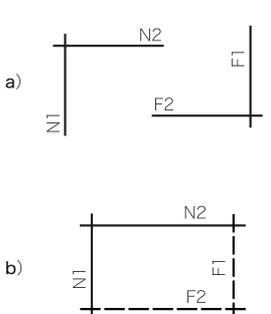
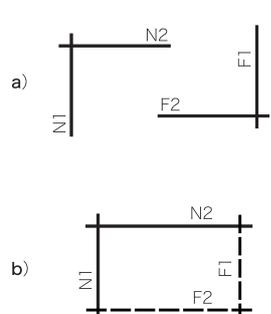
正 誤 票

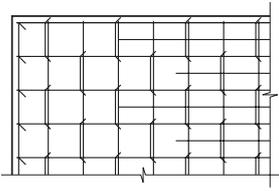
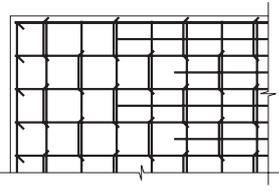
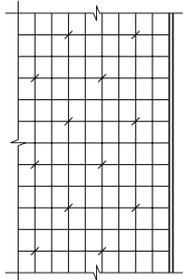
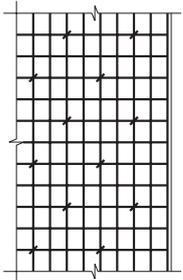
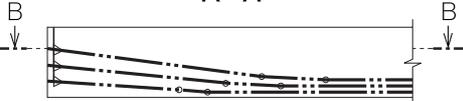
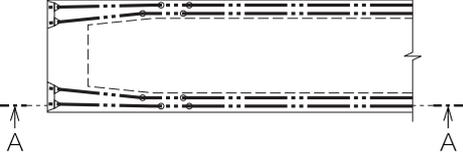
区分	位置	誤	正
本体	図 1	<p>(正)</p>  <p>( は訂正箇所)</p>	<p>(正)</p>  <p>( は訂正箇所)</p>
	図 8	<p>(正)</p>  <p>( は訂正箇所)</p>	<p>(正)</p>  <p>( は訂正箇所)</p>
	図 9	<p>(正)</p>  <p>( は訂正箇所)</p>	<p>(正)</p>  <p>( は訂正箇所)</p>

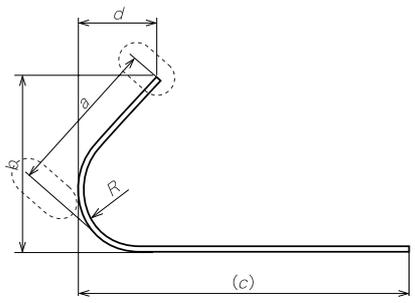
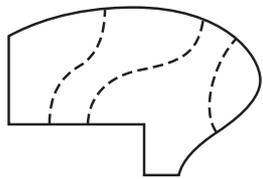
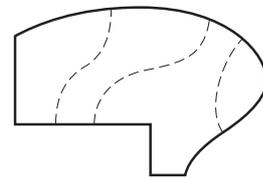
区分	位置	誤	正
本体	表 1 01.2	図の差し替え 太い実線 	太い実線 
	01.3	図の差し替え 極太の実線 	極太の実線 
	02.2	図の差し替え 太い破線 	太い破線 
	02.3	図の差し替え 極太の破線 	極太の破線 
	04.2	図の差し替え 太い一点長鎖線 	太い一点長鎖線 
	04.3	図の差し替え 極太の一点長鎖線 	極太の一点長鎖線 
	05.2	図の差し替え 太い二点長鎖線 	太い二点長鎖線 
	05.3	図の差し替え 極太の二点長鎖線 	極太の二点長鎖線 
表 2	01.1.5	図の差し替え 	
	01.2.6	図の差し替え 	
	04.1.1	図の差し替え 	 ( は訂正箇所)

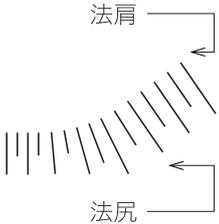
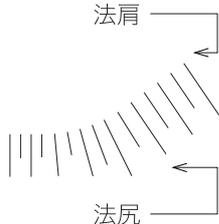
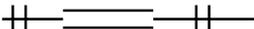
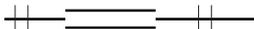
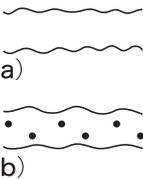
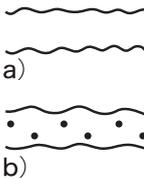
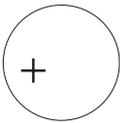
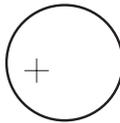
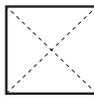
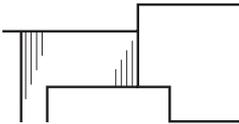
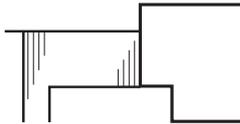
区分	位置	誤	正
本体	12.参考	参考	備考
	図 14 タイトル	図 14	図 14 長さに対する許容限界の表示例
	図 15 a) b)	(単位表示なし)	単位 mm
		単位 mm	単位 m
	図 15 タイトル	図 15	図 15 位置に対する許容限界の表示例
	表 5 説明欄 例	表 5 は・・・又は L 100×75×7-500	表 5 は・・・又は L 100×75×10-500
図 16	(正)		
	<p>(は訂正箇所)</p>		
図 18	(正)		
	<p>(は訂正箇所)</p>		
図 19	(正)		
	<p>(は訂正箇所)</p>		
表 6 説明欄 例	・・・は M12×50, したがって直径が・・・	・・・は M12×50, しかるに直径が・・・	

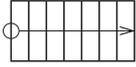
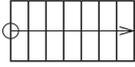
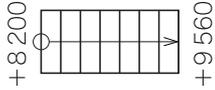
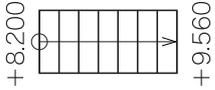
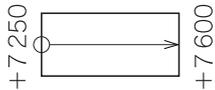
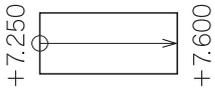
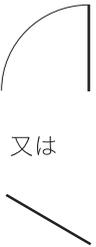
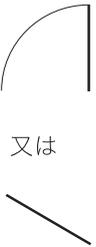
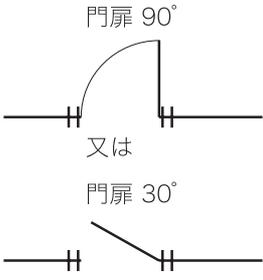
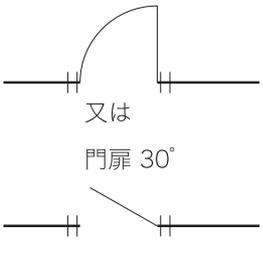
区分	位置	誤	正		
本体 表 7		(正)			
		工場削孔			
		現場削孔			
		(----- の位置に図をそろえる。)			
表 8		ボルト又はリベット (?)	ボルト又はリベット(?)		
		(正)			
		工場締め			
現場締め					
現場削孔 現場締め					
		(----- の位置に図をそろえる。)			
説明欄 例	・・・は M12×50, したがって直径が・・・		・・・は M12×50, しかるに直径が・・・		
図 21		(正)			
					
		(〇) は訂正箇所)			

区分	位置	誤	正
本体	図 22	<p>(正)</p>  <p>10 × φ25</p> <p>800</p> <p>( は訂正箇所)</p>	
	図 23	<p>(正)</p>  <p>5 × JIS B 1186-M22 × 65</p> <p>L75 × 9-3500</p> <p>4 × 100</p> <p>50</p> <p>40</p> <p>37</p> <p>( は訂正箇所)</p>	
表 9	17.1.6	[ただし…は, 17.1.3 d) を用いる。]	[ただし…は, 17.1.3 d) を用いる。]
	17.1.7	[ただし…は, 17.1.3 d) を用いる。]	[ただし…は, 17.1.3 d) を用いる。]
表 11	17.3.6	<p>図の差し替え</p>  <p>a)</p> <p>b)</p>	 <p>a)</p> <p>b)</p>
17.3.7		<p>図の差し替え</p>  <p>a)</p> <p>b)</p>	 <p>a)</p> <p>b)</p>

区分	位置	誤	正
本体	表 11 17.3.10	図の差し替え 	
	17.3.11	図の差し替え 	
	17.3.12	(正) A-A  B-B 	
	17.3.13 (説明)	(折曲鉄筋の…。の前に挿入)	配筋図において、鉄筋を一本の極太の実線で表示した場合の配筋位置は、鉄筋の中心位置の寸法で表す。
	17.3.16	(正) A-A  B-B 	
	17.4 b) 3)	3) 呼び名 (D19 の位置)	3) 鉄筋の呼び名 (例 の行に文字の位置をそろえる)
b) 6)	…の 17.3.6 及び 17.3.7 参照)	…の 17.3.6 及び 17.3.7 参照)	
c) 4)	4) 呼び名 (D19 の位置)	4) 鉄筋の呼び名 (例 の行に文字の位置をそろえる)	

区分	位置	誤	正
本体	17.4 c) 7) c) 7)の式の下	…の 17.3.6 及び 17.3.7 参照) (空白)	…の 17.3.6 及び 17.3.7 参照) 参考 上記点線の下線が施してある箇所は、ISO 3766 では、鉄筋の公称直径となっている。
	18.1	…の鉄筋の外形寸法によって表す。…	…の鉄筋の外形寸法によって表す。…
	図 28	(正)	
		 <p>( は訂正箇所 引出し線を垂直に正す。)</p>	
	18.4 a) 3)	…。例えば, B12)	…。例えば, BD13)
	a) 4)	4) 鉄筋の呼び名	4) <u>鉄筋の呼び名</u>
	a)	a) 特殊な形状	b) 特殊な形状
	b)	b) 表題欄	c) 表題欄
	b) 7) の後	(空白)	参考 上記点線の下線が施してある箇所は、ISO 4066 では、鉄筋の公称直径となっている。
	表 14	鉄筋の呼び名	<u>鉄筋の呼び名</u>
表 15 19.2.1 (適用例)	図の差し替え 		
19.2.3 (記号)	図の差し替え 又は 	又は 	
19.2.3~19.2.5 (適用例図)	単位 mm 5 000 4 500 4 000 3 500	単位 m 5.000 4.500 4.000 3.500	
19.2.6 (記号)	図の差し替え 		

区分	位置	誤	正
本体	表 15 19.2.10 (記号)	図の差し替え 	
	(適用例)	図の差し替え 	
	19.2.12 (記号)	図の差し替え 	
	(適用例)	図の差し替え 	
	19.2.21 (記号)	図の差し替え 	
	19.2.23 (記号)	図の差し替え 	
	19.2.24 (記号)	図の差し替え 	
	19.2.25 (適用例)	図の差し替え 	
	19.2.29 (記号)	図の差し替え 	

区分	位置	誤	正
本体	表 15 19.2.34 (記号) (適用例)	図の差し替え 	
		図の差し替え 	
	19.2.36 (記号) (適用例)	図の差し替え 	
		単位 mm	単位 m
	19.2.37 (記号) (適用例)	図の差し替え 	
		図の差し替え 	
	19.2.39 (記号) (適用例)	図の差し替え  又は 	 又は 
		図の差し替え  門扉 90° 又は 門扉 30°	 門扉 90° 又は 門扉 30°
	表 15 備考	備考 ISO 11091 では、19.2.2 の…として、○—○が用いられている。	参考 ISO 11091 では、19.2.2 の…として、○—○が用いられている。
	図 30	単位 mm	単位 m

区分	位置	誤	正
本体	附属書(参考)	(空白)	(JIS Z 8313-0 の行以下を上へ詰める)
	2.		
	17. 図面表示, (IV) 項目ごとの 評価の欄	IDT	MOD/変更
	17. 図面表示, (IV) 技術的差異 の内容の欄	(空白)	鉄筋の公称直径を鉄筋の呼び名に変更した。
	17. 図面表示, (V)の欄	(空白)	我が国では、鉄筋の特定に鉄筋の呼び名が用いられている。
	18. 曲げ寸法表示 示の下の行	(空白)	(行全体を上)に4行詰める)
	18. 鉄筋表, (IV) 項目ごとの評価 の欄	IDT	MOD/変更
	18. 鉄筋表, (IV) 技術的差異の内容 の欄	(空白)	鉄筋の公称直径を鉄筋の呼び名に変更した。
18. 鉄筋表, (V) の欄	(空白)	我が国では、鉄筋の特定に鉄筋の呼び名が用いられている。	

平成 15 年 12 月 1 日作成

JIS A 0101 : 2003

土木製図通則

訂正票

位置	誤	正
3.b)	…大きな問題となった。議論の結果、… (以下文末まですべて削除)。	…大きな問題となったが、議論の結果、鉄筋の曲げ寸法は鉄筋の外形寸法で表すことに決まった。

訂正票とは、規格本体以外（解説ほか）に対する正誤を表します。

平成 15 年 12 月 1 日作成